

# GSway

ともに歩み、ともに進む

12  
July 2021

02 | 特集

## ニューノーマル時代への最適化



- 08 | Product & Service
- 09 | グローブシップ ナウ!
- 10 | 支店へようこそ! (群馬支店)
- 12 | 日本史の中のスーパーフード

# さらなる「戦略FMパートナー」を目指し続ける

「戦略FMパートナー」をスローガンに掲げるグローブシップでは、コロナ禍の影響を受けたワークプレイス環境の変化にも迅速に対応しています。ニューノーマル時代に向けて、どのようなFM（ファシリティマネジメント）サービスの創出を考えているのか、常務取締役の瀬本陽一郎と、取締役の服部幸一が常務取締役の勝仁志による進行の元に語り合いました。

## お客様の利益向上につながるFMサービスを提供する

**勝** 株式会社ビル代行と日本ビルサービス株式会社の統合によって2015年に誕生したグローブシップは、「戦略FMパートナー」をキーワードとする独自の事業コンセプトを確立しています。

お客様の「戦略FMパートナー」となることを目指し多様な取り組みを進めていますが、既存のビルメンテナンスサービスと比較して、

改めて当社事業にはどのような特長があると考えられますか。

**瀬本** お客様からのご要望に従って、施設管理や清掃など定められた作業を行うのが一般のビルメンテナンスサービスです。それに対して当社は、お客様の施設形態や状況を緻密に分析し、効率化や利益向上につながるFMサービスを総合的にご提案しています。

長年の業務経験で培った豊富な知見とノウハウを持つ私どもは、

## 瀬本陽一郎

常務取締役、営業本部長、営業開発部、ロボットFM開発部所管

## 服部幸一

取締役、グローブシップ・ソテックコーポレートサービス(株)取締役、海外業務全般

司会進行

## 勝仁志

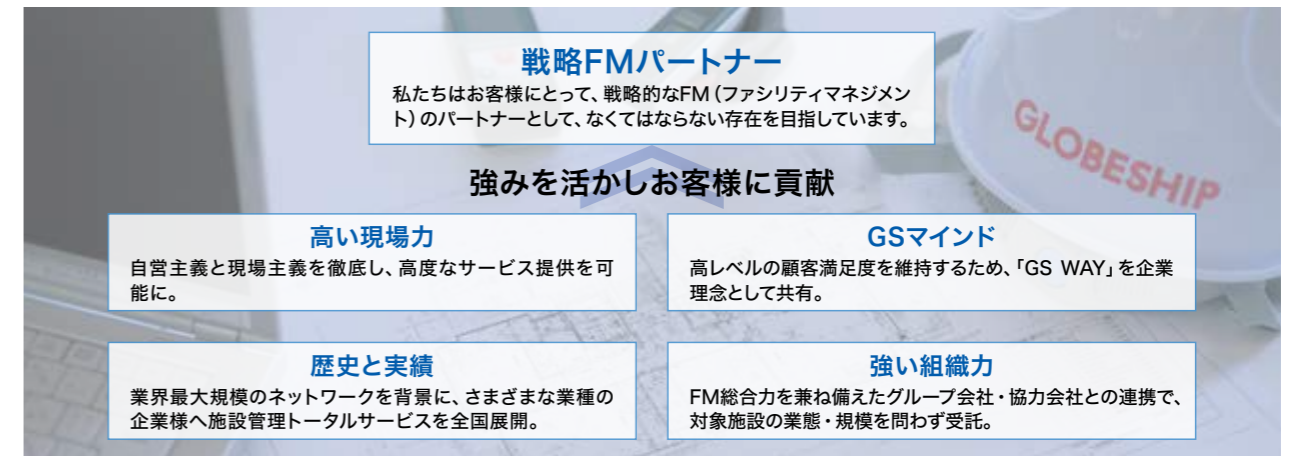
常務取締役 営業副本部長 兼 東日本事業部長

単に設備を管理するだけではなく、例えば「ビル全体のエネルギーコスト低減策」を提言したりすることも可能です。FMを通じて共にお客様のビジネスの成功を目指すことこそが、「戦略FMパートナー」という考え方です。

**勝** FMを取り巻く環境は近年どのように変化していますか。

**服部** 働き方改革の推進などに伴い、総務・人事・管財などの間接業務をアウトソーシングし、コア

## 戦略FMパートナーの考え方



業務に注力しようとする動きが多く、多くの企業で加速しています。そうしたニーズへの対応も含め、当社はお客様に本来のビジネスに集中して力を発揮していただくための多様なサポートを行っています。

**瀬本** わが社の特色として、基本的に自社社員をお客様のもとに配属する“自営主義”が挙げられます。これは自社社員が業務を遂行するからこそ求められる業務品質を実現できますし、お客様との信頼関係もより深められる、と考えてのことです。

## コロナ禍もたらした市場環境の変化に対応

**勝** 2020年から発生したコロナ禍は、当社の事業環境にどのような影響を与えましたか。

**瀬本** お客様の施設が一時的に休業するなどした影響で、売上が減りました。その渦中で取り組んだのが、感染症対策を含む新たなFMサービスを生み出すことでした。

当社は以前よりソフトバンクロボティクス(株)と協力し、AIロボ

ットを清掃分野に投入しています。主な目的は清掃業務を担う人材不足を補うことでしたが、人による清掃時に発生する埃の舞い上がりや軽減されるなど、ロボットに作業を任せることが感染症対策にも有効なことから、業務用ロボットを活用したクリーニングサービスを創出。コロナ禍でのひき合いの強い商材となりました。

**服部** 感染状況については予断を許しませんが、コロナ禍を機に高まった衛生意識はそのまま定着するはず。拡大した消毒・抗菌ニーズを満たすため、関連するサービスメニューの拡充を全力で進めています。

**瀬本** その一環として、オフィスの壁などをコーティングして感染リスクを低減する抗菌製品、光触媒を利用した空間除菌・脱臭機、温度検知機能付顔認証デバイスでビル・施設の入居者・ご利用者を守るスマート検温サービスなどをご用意しました。

もちろんコロナは“禍”に違いありませんが、私どもはそこから

新たなビジネスを生み出すことで、お客様ひいては社会全体に貢献したいと前向きに捉えています。

## ニューノーマル時代のFMサービスの在り方

**勝** これからの“ニューノーマル”と呼ばれる時代において、当社はどのような価値やサービスの創出を考えていますか。

**服部** これまでと同様に建物全体の保守業務に力を注ぐ一方で、今後はワークスペースに快適・安全・安心をもたらす「総合オフィス環境ソリューションプロバイダ」をコンセプトとした事業を展開していく方針です。そこでネックとなるのが、オフィスの快適・安全・安心を客観的に示す指標が存在しないという問題です。

例えばビルのエネルギー使用状況はBEMS (Building and Energy Management System = ビル・エネルギー管理システム) によって可視化することが可能ですが、オフィスを利用する人にとっての快適さを数値化する手立てはまだ





瀬本常務取締役

年余りの間に、お客様の思考や行動はめまぐるしく変化しています。国が最初の緊急事態宣言を出して多くの国民が外出を自粛した頃は盛んに“オフィス不要論”が叫ばれましたが、最近は「やはりオフィスは必要だ」という考え方に戻りつつあります。人が集まったところにしか生まれぬものがあることに、多くの方が気づいたからです。

**勝** テレワークがどれほど普及しようと、実際に対面してコミュニケーションを取ることも不可欠だということですね。

**瀬本** その通りです。以前のワーキングスペースは事業部ごとに分かれていましたが、ここ数年は社員が部門の枠を超えて多様な意見を交わせるよう、共用スペースでのフリーアドレス制を導入する会社が増えています。特にコロナ禍となって以降、その動きは活発になっているように感じられます。私たちには、そうした動きを敏感にキャッチして対応する新たなFMサービスを提供することも求められていると考えます。

存在しません。

そこで私どもはある大学と協力し、まずGS本社オフィスの温度・湿度、照度といった快適さに関係するファクターを常時監視・計測。併せて人の動きや流れも計測することで、人が感じる快適性を指標化する共同研究を進めています。それを踏まえて、将来的には数値的なエビデンスに基づきオフィスを快適にするサービスを創出する予定です。そこには、除菌や消毒など感染症対策も組み込むことを考えてまいります。

**瀬本** コロナ禍となってからの1

### めまぐるしく変化するお客様のニーズを満たす

**勝** 社会動向と呼応して、お客様から求められるサービス内容も、どんどん多様化しています。

**服部** お客様のニーズだけではなく、業界の在り方そのものも時代とともに変わります。近年は警備会社やIT企業など、新たなプレーヤーがFM業界へ参入するようになりました。グローブシップを選び続けていただくには、既成概念に縛られることなく、柔軟な発想で新しいサービスを創出することが重要です。当社には多様なナレッジが蓄積されているので、知恵を結集することが、今後ますます重要になるでしょう。

**勝** これまでになかったサービスとして、例えばどのようなアイデアがありますか。

**瀬本** 私どものFMサービスをご利用になる都心部の大手企業様の多くは、リモートワークを普及させるために首都圏各地にサテライトオフィス（遠隔勤務を可能にする通信設備を整えたオフィス）を用意されるようになりました。本社機能のある大規模ビルには当社

の担当者を常駐させてサービスを展開することができますが、規模の小さいサテライトオフィスではそれができません。私どもは、こうした動きに注目し、今後は清掃や消毒などを行う機動的なチームを組織し、お客様のサテライトオフィスを巡回するといったサービスを検討しています。

**服部** この1年あまりはコロナへの対応に追われたこともあり、地震や大雨など自然災害への対策が手薄になった企業が増えているようにも見受けられます。災害などの緊急事態における可能な支援策の提供は、当社が戦略FMパートナーとしてケアすべき重要項目の1つであることから、災害関連情報をいち早くお届けするサービスを新たにご提供したいと考えています。お客様の施設のあるエリアの地震や大雨等の災害予知情報を当社で取りまとめ、スピーディに発信する仕組みを構築すべく、現在準備を進めているところです。

### 基本マインドの順守で“GSブランド”を形づくる

**勝** 当社では、「戦略FMパートナー」となるために欠かせない全社員の意識や行動の指針として、「GS WAY（グローブシップウェイ）」を策定しています。これはGSグループ全員が順守すべき具体的な行動規範ですが、現場での浸透ぶりをどう感じていますか。

**服部** GS WAYは当社の基本マインドであり、企業理念の根幹をなすものです。お客様先に赴いて

業務をする担当者、また社員にも広く根づいてきていると感じます。

私が代表を務めるグローブシップ・ソテックス・コーポレートサービス(株)では、日本に進出しているグローバル企業にFMサービスをご提供しています。各施設には母国基準に基づくルールもあるため、すべてそのまま適用するというわけにはいきませんが、私は当社の行動規範は非常に優れていると自負しています。もしもグローバル企業のお客様にもGS WAYを応用する機会があれば、よりよいサービスをご提供できるのではないかと考えています。

**瀬本** 「グローブシップ」としてスタートした直後の早い段階で「GS WAY」を策定したことは、会社にとって大きな礎となりました。そこには社員の共通の思いが明文化されており、“GSブランド”を確立することに貢献してくれています。

**勝** 当社は今後、どのような方向



服部取締役

性を歩むべきだと考えますか。

**瀬本** 変化が激しい外部環境への感度を高め、新しいビジネスモデルを追求していくことが何よりも重要でしょう。

図らずもコロナ禍においてそれを実践したことで、当社はより多くの企業から頼られる存在となりました。それこそがまさしく「戦略FMパートナー」となる道筋だと私たちは考えています。

## 図2：除菌・抗菌クリーニングメンテナンスサービス

### 各種ロボット最新機器導入

- 菌量削減ソリューション ソフトバンクロボティクス社のWhizを導入

### 除菌・抗菌サービスメニュー

- 抗菌施工「デルフィーノ」(コニカミノルタ社と連携) (8頁参照)
- 定期施工「ドライピッカー-M」(リンレイ社と連携)
- 光触媒の空間除菌脱臭機「ターンド・ケイ」(カルテック社製)

### 効果の見える化

さまざまな機器やツールを用いて、導入効果きや業務品質見える化

- 大学との共同開発等



# PFI事業を力強く推進 理化学研究所の施設群を維持管理

国立研究開発法人理化学研究所は、2018年に分散していた事務機能を新しい本部棟に集約することを決定。2021年3月に竣工した新本部棟では、PFI方式が採用されました。その新本部棟と既存の施設群の管理業務をグローブシップが受託し、安心・安全・快適な研究環境を保つことに貢献しています。

## 和光地区に点在する 約100棟の施設を管理

日本で唯一の自然科学の総合研究所として物理学、工学、化学、計算科学、生物学、医科学など幅広い分野で先進的な研究を進めている国立研究開発法人理化学研究所。その本部がある埼玉県和光市の和光地区は、分散する事務部門を集約させて内部連携を強化するとともに、災害時の対応力を高める目的から新本部棟を建設。2021年3月に竣工した新本部棟と既存施設の維持管理を、弊社が受託しています。

新本部棟の建設及び建物の竣工後12年間にわたる和光地区の施設全体の維持管理はPFI<sup>\*</sup>方式で



写真左から、常務取締役 勝 仁志、営業一部 課長 米山 智、営業一部 参事 石川 圭太、執行役員 営業一部長 橋本 政広

行われ、事業全体を管理するための特別目的会社（SPC）、㈱和光アールサポートPFIが設立されました。その管理下で㈱竹中工務店が新本部棟の設計と工事を担い、施設の維持管理業務を弊社が、清掃・警備・構内整備業務を㈱東急コミュニティが担当しています。

弊社ではこれまでも他の公共事業体のPFI事業を受託していますが、多くが小規模で契約年数が短いものでした。

「理化学研究所のPFI事業は、新本部棟の建設期間から14年という長期に及び、管理する施設は新本部棟を含め既存施設約100棟に上ります。当社は今後PFI事業を経営基盤の中核の1つに据えていきたいと考えており、この受託業務をしっかり遂行することは、わが社の将来にとっても非常に大きな意味を持っていると考えています」と執行役員の橋本政広は話します。

## 着実な業務遂行で 積み上げてきた信頼

理化学研究所とのお取引の経緯は、東京・駒込にあった事業所の清掃業務とボイラー運転保守業務を受託した1966年に遡ります。その業務は、事業所が和光市に移転してからも継続してきました。

2021年3月に新本部棟が竣工するまで、長く総括責任者として和光地区の施設維持管理業務に携わってきたのが、現場統括担当の谷口忠良です。

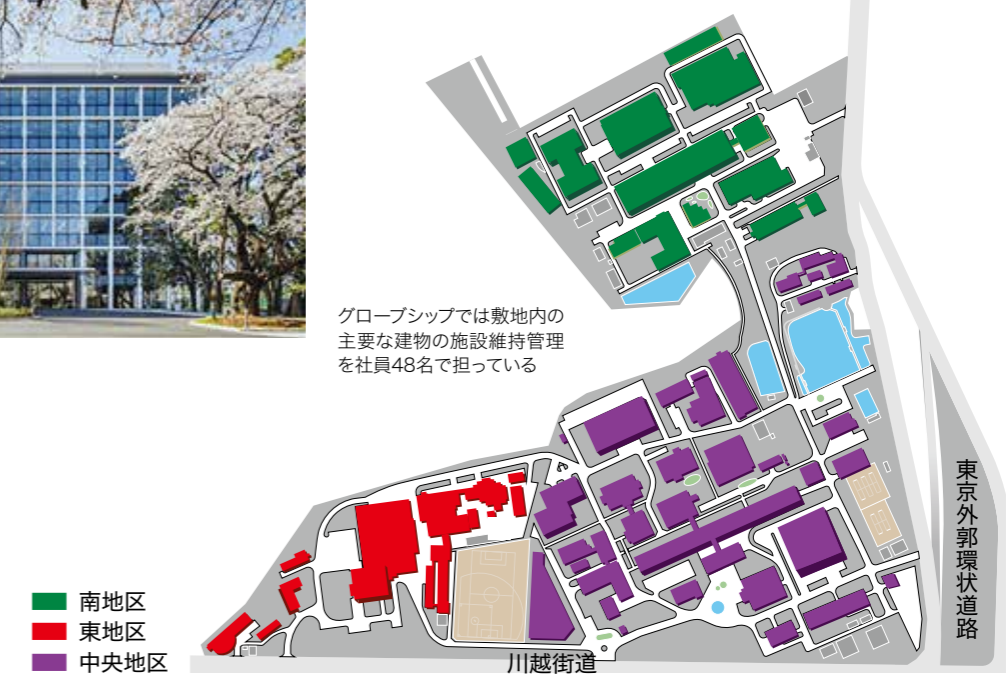
「理化学研究所の施設管理には、研究室の温度・湿度や、静圧制御室の気流を年間通じて一定に保つなど、研究施設ならではの業務を伴いますが、事故を起こしたことはありません。多くの施設を管理する人員ローテーションは容易ではありませんが、欠員を発生させたことがないのも誇りです。今回の入札においては、グローブシップのこれまでの経験を基に、理化学研究所から高く評価される提案ができたのではないかと思います」

そう語る谷口は現在、3エリアからなる和光地区の2エリアであ



理化学研究所 新本部棟

## 理化学研究所 和光地区 構内図



グローブシップでは敷地内の主要な建物の施設維持管理を社員48名で担っている

■ 南地区  
■ 東地区  
■ 中央地区

る中央・南地区の業務責任者となり、和光地区の施設群管理全体を総括する役割を営業一部参事の石川圭太に託しています。

## 公共事業体から安心して 施設管理を任せられる企業に

このPFI事業において現場に常駐し施設管理業務にあたる弊社の社員は総勢48名。うち10名が、竣工したばかりの新本部棟を担当しています。

「新本部棟は高効率な省エネルギー設備を備えているのが特長で、BCP対策として災害時の発電設備なども有しています。新本部棟に対してだけでなく既存の施設群に対しても、私どもにこれまで以上の管理品質を求められると思うので、そのご期待にきちんとお応えすることが使命だと考えています」と話す石川は、新任の総括で

ある自分を全メンバーが団結して盛り立ててくれており、チームとして一体感を帯びているのは前任者の尽力があったからと、谷口の経験値の高さを口にします。

PFI事業では定期的にモニタリング（監視＝測定・評価）がなされ、評価が著しく低ければ報酬が減額されることもあり得るので、長期契約といえども決して慢心することはできません。

「理化学研究所の事業所は全国各地に点在しています。新本部棟が理化学研究所の次の100年の発展の礎としてふさわしい建物となるべく、設備員全員が気を引き締めて業務にあたっています」（石川）

公共事業体によるコスト削減に向けたPFI事業は、今後もさらに活性化することが予測されます。今回の受注業務を通じて、グローブシップでは得られる経験と実績を土台にして、1つでも多くの公共事業体から安心してPFI事業を任せられる企業となることを目指していきます。



理化学研究所の施設を管理する弊社の熱きリーダーたち（新本部棟正面にて）

## 抗ウイルス×抗菌×防臭を実現 3つの触媒で接触感染リスクを減らす

空間まるごと抗菌  
**デルフィーノ**

新型コロナウイルスは、変異株の感染が拡大し続けています。当社では、衛生面への高い関心など社会的ニーズに適応すべく「除菌・抗菌クリーニングメンテナンスサービス」を強化。その一環として、接触感染に注目した製品「デルフィーノ」をコニカミノルタジャパン株式会社との連携でサービスを提供しています。今回は、無料付加サービスの「プラスワンサービス」と合わせてその性能をご紹介します。

デルフィーノの成分（イメージ）



### ■噴霧施工で接触面の抗菌・防カビ・消臭を

「デルフィーノ (delfino)」(製造元/株式会社デルフィーノケア) は、世界で初めて光触媒と銀との組み合わせを応用した抗ウイルス・防菌・消臭製品です。その成分には、3つの触媒が使われており、抗ウイルス効果を発揮(図)。持続効果は約1年間です。この製品を使用して実施する「デルフィーノ空間まるごと抗菌」は、オフィス・施設・共用スペースのような空間の壁や床から什器、備品までまるごと抗菌コーティングすることで抗菌・抗ウイルスに効果を発揮するサービスです。噴霧は、ナノ単位の細かな粒子のため、隅々までもぐりこんで抗菌コーティング。コーティング面に菌・ウイルスが触れることにより、それらを不活性化し増殖をさせません。机を移動させる必要もなく、パソコンなどの機器にも影響はありません。当社ではコニカミノルタジャパン株式会社と連携により2020年4月からサービスを開始、ご契約いただいたすべてのお客様から継続契約を受託しました。



施工済みラベル

### ■「プラスワンサービス」で 抗菌効果の持続性を高める

今年4月から、デルフィーノご契約者様への新しい付加サービスとして「プラスワンサービス」を開始しました。これは、デルフィーノをご契約いただいたお客様の中で、施工範囲が301㎡以上のご契約者様を対象に、施工半年後に無料で高接触ポイントのスポットコーティングを実施するというものです。

高接触ポイントとは、オフィス内のドアノブや複合機のタッチパネル、壁面のスイッチなど人が特によく接触する部分。手作業にて実施するスポットコーティング施工は、噴霧施工との組み合わせにより、抗菌効果の持続性を向上させることができます。

「デルフィーノ」は、施設環境対策として単体でのご依頼も承ることが可能です。ぜひお気軽にお問い合わせください。

### ■企業イメージを守るために

感染対策は従業員を守るだけでなく、企業そのもののイメージを守るためにも欠かせません。「デルフィーノ」の施工後は、施工実施を証明する「証書」及び「施工済みラベル」が発行されます。関連ポスターなどとともに施設・オフィス内に掲示いただくことで、社内外へのアピールにもつながります(図)。

お問い合わせ先  
ロボットFM開発部 TEL.03-6362-9795

## グローブシップナウ!

### お客様の期待を超えたサービスを 「第5回GS WAY コンテスト」を開催

第5回「GS WAY コンテスト」を6月7日に本社ビル9階会議室で開催。対象となる全国約250出張所から、各部門・GS WAY 専門委員推薦で20の出張所が候補に挙がり、実績や活動が評価された8出張所がGS WAYの実践内容を発表しました。

今年はコロナ禍ということもあり、遠方からの参加者はZoomを使用したプレゼンテーションを行うなど、例年とは異なる方法での開催となりました。後日、本社・グループ会社の社員による投票で、金賞、銀賞、銅賞、特別賞が決定。金賞に輝いたのは「新有楽町有楽町ビル出張所(営業第三部)」、銀賞に「横浜ロイヤルパークホテル(横浜支店)」、銅賞に「仙台駅ビル(仙台支店)」がそれぞれ受賞し、授与式が



催されました。

社長の矢口は「どの出張所もGS WAYの趣旨を十分に理解し、実践してくれている様子に感動した。熱意を感じる発表は甲乙つけがたく、投票には苦勞した。現場運営レベルの向上のため、他の出張所も今回のGS WAY コンテストを参考にしてほしい」と、各出張所に労いの言葉を送りました。

本コンテストの内容を模範とし、他の営業所と共有することで、さらなるGS WAYの浸透を図ってまいります。

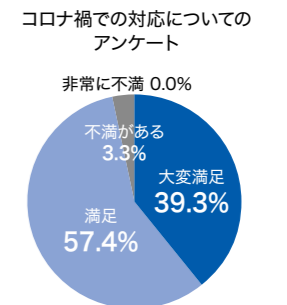
### お客様に寄り添うために グローブシップCSアンケートを集計

2021年1～3月にかけて、「グローブシップCSアンケート」を行いました。本社や支店のお客様を対象に、グローブシップに対する満足度を4段階の質問で測る他、意見等を今後の業務に活かすべく、ご協力いただきました。

結果、業務品質や従業員、コロナ禍での対応も含め、95%以上のお客様から「満足」以上の評価をいただく

一方で、ご不満に感じている部分を知ることができ、今後の課題が明確になりました。

今回のアンケート結果を活かし、さらなる業務品質の向上と満足度向上に向けた適切な改善施策を実施し、お客様の期待に応える「戦略FMパートナー」として努力してまいります。



### グローブシップを支える柱となる 「入社式」で加わる新たな力

グローブシップでは2021年度、32名の新入社員を迎えました。内訳は男性21名、女性11名で、昨年比で女性の新入社員が8名増えています。社長の矢口から「常にグローブシップの代表であるという自覚と責任感を持ち、仲間と協力・連携しながら『当事者意識』を持って業務に邁進してほしい」と、激励の言葉がありました。

今後、活気溢れる個性豊かな新入社員が、先の時代に向けて高い志を抱き、多様な価値観と改革の視点を持って活躍してくれると期待しています。



編集後記—— 昨今、働き方改革やテレワークやフリーアドレスなど、ワークプレイスが大きく変化してきています。施設管理においても、従来は施設の「維持・保全」が主体でしたが、ファシリティマネジメントの視点で、施設のより良いありかたを求める「最適化」が加速すると予想されます。管理の性格も従来の施設管理が「現場管理的」でしたが、今後は「経営戦略的」な管理となるでしょう。弊社ではコロナを踏まえた消毒・抗菌関連サービスを加えた清掃サービスや各種ロボットやITを活用した付加価値の高い施設管理を提供していると考えています。今後、多くの企業で本業により経営資源を集中するために、本業以外の業務を他の専門会社にアウトソーシング(外部委託)し、コア業務により集中して、生産性向上を目指すBPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)が増えていくと思われ、当社はそれに合わせていくつもりです。(管理本部長 佐藤武男)

# 支店の職場環境を大幅に改善 現場の活性化につなげる



**群馬支店  
支店長 峯崎祥信**

群馬支店では、笑顔で何でも話せる職場風土の構築と「安全第一・効率第二」を合言葉に、従業員とその家族を守ることを一義に業務に奮闘しています。今後も安全作業を徹底し、お客様に快適な空間環境を提供してまいります。

## コロナ禍のご要望にも 支店を挙げて柔軟に対応

グローブシップ(株)群馬支店は、(株)ビル代行が1964年に日本原子力開発機構高崎研究所から総合清掃を受託したことに端を発し、1966年には東京電力の群馬支店内に群馬営業所を設立したことに遡ります。

その後1999年に今の拠点に移り、2010年4月に支店へ昇格、

2015年にグローブシップ(株)群馬支店としてスタートしました。現在は従業員146名が所属、160件の管理物件をお預かりしています。

群馬県は、製造業をはじめとする第2次産業が中心となって県の経済をけん引しています。また交通要所としてインフラが整備されているため、首都圏をはじめ周辺地域へのアクセスが良いことも特徴です。こうした立地条件から群

馬支店の管轄エリアは地元を中心に新潟県、山梨県、長野県と広域にわたり、現在の受託業務は、清掃30%、設備管理20%、各種工事45%、その他サービス5%という内訳になっています。

昨年1年間の事業の状況については、「折からのコロナ禍による事業への影響は、プラス面とマイナス面があります」と、安全品質課長の工藤進は語ります。「電力関連業のお客様からは、清掃業務に加えて除菌を含めた受注が一時的に増加しました。一方、ホテル・宿泊施設関連業は全体的にマイナス受注となっています。お客様側の衛生面への意識はますます高くなり、ライフライン関連業では、従業員の動線にも注目され、清掃・設備など臨時受注する動きがありました」(工藤安全品質課長)。

こうした安定しない事業環境の中でも、支店ではお客様に対してスムーズにサービスをお届けできるよう、心がけてきました。「現場では各責任者が対応しながら、常に風通しの良い職場であるよう意識してきました。課題があった場合でも、個人で抱えることなく、すぐに情報共有し、皆で乗り越えていくような力を持っていると思



オフィス改修の窓口業務を担当した長沼未来主任は、「動線はもちろん、什器・備品等の選定にもこだわりました。事務方は終日オフィスでの仕事になりますので、働く環境が整うことは効率アップにつながります」と語ります。



います」と、支店長の峯崎祥信は自店の強みを分析しています。「会議というフォーマルなスタイルを特に設定せずとも日常業務の中で自然と報・連・相がとれている、コミュニケーションの良い職場です。また、本社と比べてお客様との距離感が近いことから、ご要望などにもスピーディに対応できると思います」(峯崎支店長)。

## フリーアドレス制の導入で さらに高まる業務効率

群馬支店では、大幅にオフィスの使い方を見直し、2021年4月にフロアを1.5倍に拡張、改修しました。2年半前から、支店では

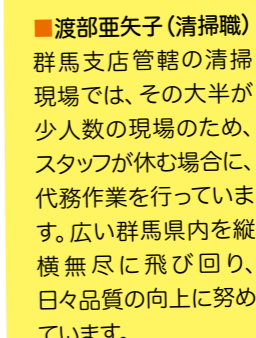
人員が増えて手狭になってきたことをきっかけに改修の検討をはじめ、いかに業務効率を高められるかを支店全員で徹底的に話し合いました。その結果、社員が個々に決められた席を持たないフリーアドレス制の導入を決定しました。さらにオフィス入口には2カ所の会議室を新たに設置。来客時にも専用スペースとしてお客様にご利用いただけるようにしています。

「フリーアドレス制については、全社で初めての試みであり、ペーパーレス化など文書管理のスタイルにも徐々に慣れてきました。書類の電子化等は今後も進みますので、さらに業務効率を高めてまい

日々  
全力投球!



■翠川佳諭(営業職)  
2021年度より、25箇所の電気工作物年次点検業務を新規受託しました。業務責任者として各協力会社と念入りに打合せを進め、安全作業を徹底した上で無事故での業務を遂行しています。



■渡部亜矢子(清掃職)  
群馬支店管轄の清掃現場では、その大半が少人数の現場のため、スタッフが休む場合に、代務作業を行っています。広い群馬県内を縦横無尽に飛び回り、日々品質の向上に努めています。

ります」(業務課長金澤祐介)。  
峯崎支店長は、「オフィスの美観が整ったことからスタッフの仕事への意識やモチベーションが高まっています」と、その良さを語ります。今後は、群馬・新潟・長野・山梨のお客様が何を求めているのか考え、ニーズに応じて質の高いサービスを提供していきたいと話す峯崎支店長。群馬支店の動きに注目が集まります。

**支店情報**  
**グローブシップ株式会社 群馬支店**  
 ■所在地：群馬県前橋市表町2-9  
 ■管理物件：160件  
 ■従業員：146名(パート含む)

「人生100年」時代、**アクティブ・ハンドレッド**を目指そう！

## 其の十二 在原業平の恋力を支えた クルミ

永山久夫 食文化史研究家



### ◆恋のために生きた男

平安時代の初期に在原業平ありからのなりひら (825-880) というイケメンの歌人がいた。高貴の身分でありながら、無類の色好みで、都中のうわさになっていた。

彼がモデルといわれる『伊勢物語』は、さまざまな恋話を集めたもので、「むかし男ありけり」で始まる話が多く、その「男」こそ業平なのである。

彼は恋のためなら、いばらの道でも進む。山でも海でもどこへでも出かけて行く。凄いのは、『伊勢物語』の「つくも髪」のくだりだ。

髪が白くなった老女が、業平に恋をして、苦しんでいることを知った業平は、可哀相になり、老女が住むあばら屋をそっと訪ね、戸口の隙間から中をのぞくと、白髪の女が淋し気に座っている。

### ◆百歳近い女性とも共寝するやさしさ

その姿を哀れに思い歌を詠んだ。

百年ももどせに一年たらぬつくも髪

我を恋ふらし面影に見ゆ

「つくも」は、「百から一を引く」、すなわち「九十九歳」のこと。歌の意味は、「年老いて白髪の乱れた百歳近い女が、私のことを恋しく想っているらしい。それが彼女のやつれた面影に見える」という内容。

一方の老女は、近くに恋しい恋しい男が来ているとは気づかず、やるせない想いから次の歌を作る。

さむしろに衣かたしき今宵もや

恋しき人にあはでのみ寝む



「敷物に衣をいして、今夜もまた恋しい人に会わないままで、淋しく独り寝をするのでしょうか」という意味である。

恋しい人というのは業平のことで、会ったこともないのに、都で評判の高い、彼への片思いに身も細る思いをしてきた老女であった。同情した業平は、その夜、老女と共寝してしまうのである。何とやさしい業平なのだろう。

### ◆業平はクルミを食べてがんばった

業平の恋のスタミナ源は、当時貴族の間で流行していた「交果まぎくだ物」であった。小袋入りのクリやクルミなどで、業平はとくにクルミを好んだようである。

クルミはスタミナ効果抜群で、若返り作用のビタミンEや血液サラサラ成分、創作能力を高める健脳物質、さらに美容効果まであつて、業平の若さと、疲れを知らぬ情交能力を高めていた。

しかし、業平もやがて老いていく。そして、死の近いことを悟り、歌を作る。

ついにゆく道とはかねてききかど

昨日今日とは思はざりしを

「死が誰でも行く道であることは知ってはいたが、こんなに早く来るとは」。業平の没年は56歳であった。

永山久夫 食文化史研究家 1932年生まれ。古代から明治時代までの食事復元研究の第一人者。長寿食や健脳食の研究者でもあり、長寿村の食生活を長年にわたり調査している。『「和の食」全史』ほか著書多数。